



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年11月11日

上場会社名 株式会社ゲオホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 2681 URL <https://www.geonet.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 遠藤 結蔵
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理財務部GM (氏名) 梶田 義章 TEL 052-350-5711
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月9日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	172,562	13.6	6,292	324.5	7,574	279.9	4,525	523.6
2022年3月期第2四半期	151,948	△4.2	1,482	△59.1	1,993	△48.8	725	△41.0

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 4,626百万円 (762.1%) 2022年3月期第2四半期 536百万円 (△56.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	106.72	106.55
2022年3月期第2四半期	17.11	17.09

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	188,778	81,302	42.9
2022年3月期	174,375	77,193	44.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 80,953百万円 2022年3月期 76,832百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
2023年3月期	—	12.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	12.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	350,000	4.5	10,000	22.3	11,500	19.0	5,750	△3.9	135.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	42,407,952株	2022年3月期	42,405,952株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	－株	2022年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	42,405,957株	2022年3月期2Q	42,405,952株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

当第2四半期連結累計期間における事業環境は、新型コロナウイルス感染症の急激な感染再拡大が見られたものの、生活習慣の変化やワクチンの普及に伴い、段階的に行動制限等も緩和され経済活動は以前の状態に戻りつつあります。しかしながら、ウクライナ情勢の長期化、資源価格や原材料価格の高騰、円安による物価の上昇等により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境のなか、当社グループにおきましては、感染再拡大防止に向けて、引き続き従業員のマスク着用、アルコール消毒、こまめな換気を実施し、お客様・従業員の安全に十分に配慮しながら商品・サービスの提供を行い、「豊かで楽しい日常の暮らしを提供する」ことを目指し、様々な取り組みを続けております。

リユース系リユース商材の動向といたしましては、新型コロナウイルス感染症の影響により停滞していた社会経済活動が当初予想よりも早く回復したものの、インバウンド需要の本格回復には時間を要し、リユースラグジュアリー商材の売上が想定より下回りました。一方、リユース衣料服飾雑貨は、物価高による生活防衛手段としてリユースへの需要が高まり、想定を上回って推移しリユース系リユース商材全体の売上は増加いたしました。

メディア系リユース商材の動向といたしましては、リユースゲームソフトの売上は減少しましたが、ゲームソフトのヒット作に牽引される形でリユースゲーム機器本体は売上が増加しました。また、スマートフォンやタブレット端末等のリユース通信機器につきましては、2021年10月1日以降発売の端末SIMロック販売の原則禁止により市場の活性化に加え、新品価格の高騰による節約志向が、リユース通信機器の販売に好影響としてあらわれ、メディア系リユース商材全体の売上は増加いたしました。

新品商材の動向といたしましては、家庭用ゲーム機「PlayStation 5」本体の供給不足が継続しておりますが、「Nintendo Switch」本体が好調に推移し売上は増加いたしました。

レンタル商材の動向といたしましては、配信サービスの普及とレンタル市場の縮小に伴い、想定範囲内で売上は減少いたしました。

また、外国為替相場的大幅な円安進行により、為替差益922百万円を計上いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高172,562百万円（前年同期比13.6%増）、営業利益6,292百万円（前年同期比324.5%増）、経常利益7,574百万円（前年同期比279.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益4,525百万円（前年同期比523.6%増）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間における当社グループの店舗数の状況は以下のとおりとなりました。

() 内は、前連結会計年度末との増減数であります。

	直営店		F C店・代理店		合計			
	出店数	退店数	出店数	退店数				
ゲオグループ店舗数	1,785	41	21	186	0	7	1,971	(+13)
GEO	964	2	10	132	0	7	1,096	(△15)
2nd STREET (国内)	723	21	8	54	0	0	777	(+13)
2nd STREET (米国)	16	6	0	0	0	0	16	(+6)
2nd STREET (マレーシア)	10	2	0	0	0	0	10	(+2)
2nd STREET (台湾)	12	4	0	0	0	0	12	(+4)
OKURA TOKYO (お蔵)	21	2	0	0	0	0	21	(+2)
LuckRack	20	2	1	0	0	0	20	(+1)
その他	19	2	2	0	0	0	19	(0)

(注) 1. 屋号毎の店舗数をカウントしています。

2. GEOは家庭用ゲーム・携帯電話・スマートフォンの買取販売、DVDレンタル等を行う店舗（屋号：GEO、GEO mobile）をカウントしています。

3. 2nd STREETは衣料品や家電製品等の買取販売を行う店舗（屋号：2nd STREET、Super 2nd STREET、2nd OUTDOOR、JUMBLE STORE等）をカウントしています。

4. 前連結会計年度まで表示しておりました2nd STREET(海外)は国別表示に変更しています。

5. 前連結会計年度まで表示しておりましたウェアハウスはその他に含めることに変更しています。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は131,798百万円となり、前連結会計年度末に比べ13,828百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が5,525百万円、売掛金が1,967百万円、商品が6,708百万円増加したことによるものであります。固定資産は56,980百万円となり、前連結会計年度末に比べ575百万円増加いたしました。これは主に投資その他の資産のその他が746百万円減少した一方、建物及び構築物（純額）が1,076百万円、無形固定資産が327百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、188,778百万円となり、前連結会計年度末に比べ14,403百万円増加いたしました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は39,723百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,666百万円増加いたしました。これは主に買掛金が3,049百万円、1年内返済予定の長期借入金が500百万円増加したことによるものであります。固定負債は67,752百万円となり、前連結会計年度末に比べ6,628百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が6,462百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、107,475百万円となり、前連結会計年度末に比べ10,294百万円増加いたしました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は81,302百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,109百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益4,525百万円及び剰余金の配当508百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は42.9%（前連結会計年度末は44.1%）となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ6,123百万円増加し、53,974百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果、増加した資金は2,822百万円（前年同四半期は11,716百万円の減少）となりました。

これは、売上債権の増加額が1,806百万円、棚卸資産の増加額が6,535百万円、レンタル用資産取得による支出が1,343百万円、未払消費税等の減少額が591百万円、法人税等の支払額が358百万円ありましたが、税金等調整前四半期純利益が7,554百万円、減価償却費が2,156百万円、レンタル用資産減価償却費が1,690百万円、仕入債務の増加額が3,178百万円ありましたが主な要因であります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果、減少した資金は3,369百万円（前年同四半期は3,613百万円の減少）となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出が2,414百万円ありましたが主な要因であります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果、増加した資金は6,362百万円（前年同四半期は3,687百万円の増加）となりました。

これは、長期借入金の返済による支出が2,937百万円ありましたが、長期借入れによる収入が9,900百万円ありましたが主な要因であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向等を踏まえ、2022年5月13日に公表いたしました2023年3月期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2022年11月11日）公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	45,604	51,130
売掛金	9,962	11,930
商品	51,438	58,147
その他	11,014	10,790
貸倒引当金	△50	△201
流動資産合計	117,970	131,798
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,646	14,723
その他（純額）	13,475	13,118
有形固定資産合計	27,121	27,842
無形固定資産	2,821	3,149
投資その他の資産		
敷金及び保証金	17,366	17,647
その他	10,009	9,262
貸倒引当金	△914	△921
投資その他の資産合計	26,461	25,988
固定資産合計	56,405	56,980
資産合計	174,375	188,778
負債の部		
流動負債		
買掛金	14,123	17,172
1年内返済予定の長期借入金	5,893	6,393
未払法人税等	1,559	2,178
賞与引当金	2,388	2,044
その他	12,092	11,933
流動負債合計	36,057	39,723
固定負債		
長期借入金	52,050	58,512
資産除去債務	6,871	6,955
その他	2,203	2,284
固定負債合計	61,124	67,752
負債合計	97,181	107,475
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,975	8,977
資本剰余金	3,388	3,389
利益剰余金	64,523	68,540
株主資本合計	76,887	80,907
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△10	1
繰延ヘッジ損益	△0	-
為替換算調整勘定	△44	44
その他の包括利益累計額合計	△55	45
新株予約権	361	349
純資産合計	77,193	81,302
負債純資産合計	174,375	188,778

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	151,948	172,562
売上原価	89,770	103,902
売上総利益	62,178	68,659
販売費及び一般管理費	60,696	62,367
営業利益	1,482	6,292
営業外収益		
為替差益	3	922
不動産賃貸料	336	352
その他	564	422
営業外収益合計	904	1,697
営業外費用		
支払利息	104	115
不動産賃貸費用	169	182
その他	119	117
営業外費用合計	393	415
経常利益	1,993	7,574
特別利益		
投資有価証券売却益	250	-
特別利益合計	250	-
特別損失		
減損損失	101	19
特別損失合計	101	19
税金等調整前四半期純利益	2,143	7,554
法人税、住民税及び事業税	1,090	2,338
法人税等調整額	326	690
法人税等合計	1,417	3,028
四半期純利益	725	4,525
親会社株主に帰属する四半期純利益	725	4,525

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	725	4,525
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△205	12
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	15	88
その他の包括利益合計	△189	101
四半期包括利益	536	4,626
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	536	4,626

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,143	7,554
減価償却費	2,362	2,156
レンタル用資産減価償却費	2,004	1,690
受取利息及び受取配当金	△25	△34
支払利息	104	115
売上債権の増減額（△は増加）	1,523	△1,806
棚卸資産の増減額（△は増加）	△5,137	△6,535
レンタル用資産取得による支出	△1,733	△1,343
仕入債務の増減額（△は減少）	△3,919	3,178
未払消費税等の増減額（△は減少）	△4,972	△591
その他	△784	△1,118
小計	△8,434	3,266
利息及び配当金の受取額	17	28
利息の支払額	△104	△115
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△3,195	△358
営業活動によるキャッシュ・フロー	△11,716	2,822
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,016	△2,414
その他	△596	△954
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,613	△3,369
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	6,800	9,900
長期借入金の返済による支出	△2,312	△2,937
配当金の支払額	△719	△510
その他	△80	△89
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,687	6,362
現金及び現金同等物に係る換算差額	29	307
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△11,612	6,123
現金及び現金同等物の期首残高	54,576	47,851
現金及び現金同等物の四半期末残高	42,963	53,974

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年9月30日）

当社グループは小売サービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。